

平成 23 年度 吹田を知る【地域福祉編】

「地域の人と協働できる職員育成のための地域福祉活動体験実習」

報 告 書



(吹二地区子育てサロン ママーズにて)

平成 24 年 (2012 年) 1 月

吹田市 福祉保健部 地域福祉室 福祉総務課

1 地域福祉活動体験実習実施の目的

- (1) 市民と行政の協働（パートナーシップ）で地域福祉計画をすすめるため
- (2) 地域福祉計画や地域福祉活動について職員への周知を図るため
- (3) 実際に地域福祉活動に参加することで、民の役割である「地域福祉活動の推進」を理解し、地域福祉計画や地域福祉推進における公民協働についての理解を深め、福祉意識の向上を図るため

2 参加者数及び内訳

(1) 参加人数 38名（平成22年度（2010年度） 25名）

(2) 所属別

総務部	人事課	3名	都市整備部	建築課	2名
	情報政策課	1名		住宅政策課	1名
政策推進部	政策推進室	1名		千里再生室	1名
	安心安全室	1名	建設緑化部	交通政策課	1名
自治人権部	市民自治推進室	2名	水道部	工務室	1名
児童部	保育課	1名		給水相談課	1名
	児童育成課	2名	学校教育部	学務課	1名
福祉保健部	福祉総務課	2名		教育政策室	1名
	生活福祉課	2名		幼稚園課	1名
	内本町地域保健福祉センター	1名	地域教育部	生涯学習課	1名
	亥の子谷地域保健福祉センター	1名		さんくす図書館	1名
	介護保険課	1名		青少年サポートプラザ	1名
	高齢生きがい課	1名	体育振興部	片山市民体育館	1名
	障がい者くらし支援室	2名	選挙管理委員会事務局		1名
	国保高齢者医療室	2名			

（11部 28室課 1委員会）

(3) 役職別

課長代理級 1名 係長級 7名 係員 28名 非常勤職員 2名

（平成23年9月14日 事前講義時点）

3 事前講義

●日時：平成23年（2011年）9月14日（水）午後1時30分～午後4時

●場所：市役所 研修室

●内容：1 第2次地域福祉計画の推進における公民協働について（25分）

2 社会福祉協議会、地区福祉委員会活動について（40分）

3 コミュニティソーシャルワーカーとの座談会（60分）

●配付資料

次第、体験実習参加希望調査票、パワーポイント資料、アンケート、グループ分け図

第2次地域福祉計画概要版、第2次地域福祉計画リーフレット

第四期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画概要版

こども笑顔輝きプラン（次世代育成支援行動計画（後期））概要版、第3期障がい者計画概要版

CSW事例集、社協だより、こども社協だより、社協リーフレット、CSWリーフレット、

ボランティアセンターリーフレット、パワーポイント資料、社協ブログ案内

4 地域福祉活動体験実習への参加

- 実施時期 平成23年(2011年)10月～平成24年(2012年)1月
- 子育てサロン 11地区 ●いきいきサロン 4地区 ●陽だまりルーム 8回
- 子育てサロン、いきいきサロンは原則として社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカー1名、福祉総務課職員1名が同行
- 陽だまりルームは原則として福祉総務課職員1名が同行

活動名	月日	時間	場所	参加者数
山二地区いきいきサロン	10月6日(木)	13:30～	山二地区公民館	1
陽だまりルーム	10月7日(金)	10:00～	吹二地区集会所	1
陽だまりルーム	10月11日(火)	10:00～	吹二地区集会所	1
陽だまりルーム	10月13日(木)	10:00～	吹二地区集会所	1
陽だまりルーム	10月14日(金)	10:00～	吹二地区集会所	2
片山地区子育てサロン	10月17日(月)	10:30～	朝日が丘児童センター	5
陽だまりルーム	10月18日(火)	10:00～	吹二地区集会所	3
山二地区子育てサロン	10月19日(水)	10:30～	山二地区公民館	1
竹見台地区いきいきサロン	10月21日(金)	13:30～	竹見台市民ホール	2
古江台地区いきいきサロン	10月24日(月)	13:00～	古江台市民ホール	1
陽だまりルーム	10月25日(火)	10:00～	吹二地区集会所	1
陽だまりルーム	10月27日(木)	10:00～	吹二地区集会所	1
山手地区子育てサロン	11月7日(月)	9:45～	総合福祉会館	5
千一地区子育てサロン	11月9日(水)	10:30～	千一地区集会所	1
千一地区いきいきサロン	11月9日(水)	10:15～	千一地区集会所	1
吹二地区子育てサロン	11月10日(木)	10:00～	吹二地区集会所	1
吹三地区子育てサロン	11月15日(火)	10:00～	浜屋敷	2
陽だまりルーム	11月16日(水)	10:00～	吹二地区集会所	2
高野台地区子育てサロン	12月1日(木)	10:00～	高野台市民ホール	3
北山田地区子育てサロン	12月2日(金)	10:30～	北山田地区公民館	2
古江台地区子育てサロン	12月13日(火)	10:00～	古江台市民ホール	2
東地区子育てサロン	12月16日(金)	10:00～	吹東町集会所	1
吹二地区子育てサロン	1月12日(木)	10:00～	吹二地区集会所	1

延べ参加者数41名

(子育てサロン、いきいきサロン両事業の参加者 1名、全ての事業への参加者1名)

※以降、「コミュニティソーシャルワーカー」を「CSW」と表記します。

5 地域福祉活動参加報告

※時間については、サロンの開催時間ではなく、実習として参加した時間（準備や反省会への参加も含む）となっています。

山二地区いきいきサロン (山二地区公民館)		10月6日(木) 13:30~15:00			
実習者	西岡 亨(高齢生きがい課)	担当	黒木	社協	大谷
内容	<p>山二地区のいきいきサロンは、茶菓子を食べながら歓談したりプログラム活動を行う「ほのぼの茶話会」のほか、食事を作り振舞う「昼食会」(ふれあい昼食会とは異なる)や、参加者をあえて男性の高齢者に限定した「男の喫茶室」など、3種類のサロンが年間16回程度開催される。山二地区は他の地区に比べて男性の参加者が比較的多いそうで、男性にも参加しやすい活動をとということで、そば打ちや工場見学といった一風変わったことを行っているのが男の喫茶室である。</p> <p>サロンが始まる前にCSWから山二地区のサロン活動の実情について簡単に説明を受け、今回のいきいきサロン、ほのぼの茶話会がスタートした。今回は亥の子谷地域保健福祉センターの保健師による、普段からの健康維持管理や、これからの季節を乗り切るための予防法といった、健康についての講義が行われた。その後、お茶とお菓子でしばらく歓談し、早口言葉を全員で言ったり健康維持のために歌を歌ったりし、サロンは終了した。今回は座学形式ということもあってか、参加者からの感想やお話を伺うことが出来なかったが、毎回楽しみに来られている方も多くいるようで、参加者同士でお喋りも弾み、終始和やかな時間が流れていった。</p> <p>ところで、このあたりは坂道が多く、山二地区については範囲も広いという問題がある。幸いこの地域ではコミュニティバスが運行しているため、遠方の方もバスを利用して来ることができる。地域や施設の実情によってどの地区もそれぞれ悩みを抱えながらも工夫して運営しているようである。</p> <p><参加者> 27名 <スタッフ> 11名</p>				
実習者の声	<p>・「いきいきサロン」に参加させていただきましたが、高齢者の方が楽しそうに歓談されるなど、いきいきとした表情をされており、高齢者の居場所のひとつになっていると感じました。</p>				

陽だまりルーム (吹二地区集会所)		10月7日(金) 10:00~14:00	
実習者	石田 安喜(保育課)	担当	服部
内容	<p>10時より少し前に吹二地区集会所に到着。今回が地域福祉体験実習で訪問する最初の日で、スタッフの方への挨拶の後、昼食準備となった。</p> <p>いつもよりスタッフが少ないため、少し急いでの準備となり、次々と調理・盛り付けを行っていく。予定時間までに人数分の昼食ができ上がり、少し落ち着いた頃に高齢者の方が来られた。その後、子どもを連れてお母さんたちが続々とやってきた。</p> <p>出来上がった昼食をお母さんたちへ運んだ後、高齢者の方にお話を聞いてみた。</p> <p>陽だまりルームに子どもが来ないときがあると、何か物足りなくて寂しい。子どもたちが元気に遊び、ご飯を食べている姿を見るのが楽しい。中には話しかけてくれる子どももあり、それがうれしいそうで、表情もほころんでいた。</p> <p>次に、お母さんたちに陽だまりルームについて聞いてみた。</p> <p>友達に陽だまりルームのことを聞いてやって来た。子育てで悩んでいるときでも、ここに来てスタッフの方々に相談すると、「誰もが通っていく道なのよ。」と言われて安心する。それを聞くと悩み過ぎなくてもいいのだなと思い、気持ちも楽になるとのことだった。また、料理がおいしく、子どもを遊ばせておくにもスタッフの方がおられ安全というところが、陽だまりルームへ来られる主な理由の一つのようだ。</p> <p>最後に、陽だまりルームスタッフの方々に話を聞いた。</p> <p>家でしゃべる相手がない子育て中のお母さんが、ここに来てしゃべることにより子育ての悩み解消になればよいと話された。他の地区からもここに来られる方がいるそうで、ニーズの高い事業だと思われる。</p> <p><参加者> 18名 <スタッフ> 4名</p>		
実習者の声	<p>・世代間の交流の場があって、お互い顔見知りになり会うことが楽しみになっていることが印象的でした。核家族・独居世帯が増える中、自由に集える場は貴重だと思いました。</p>		

陽だまりルーム (吹二地区集会所)		10月11日(火) 10:00~13:00	
実習者	加樂 拓也 (市民自治推進室)	担当	黒木
内容	<p>陽だまりルームは吹二地区集会所内に毎週火曜日から土曜日までの週5日、10時から16時まで開放している。陽だまりルームのコンセプトのひとつに「だれもが自由に利用でき、和やかな雰囲気の中で語り合い、交流し、安心して子育て、子育て、孫育てができる。」というものがある。このコンセプトのとおり高齢の方や子育て中の親とその子どもが、時折立ち寄ってお茶を飲んだり食事をしたりしてはまた帰っていく。</p> <p>オープン10分前の9時50分に到着すると、スタッフの方々が、オープンの準備や昼食の下ごしらえを始めようとしているところだった。陽だまりルームの運営スタッフの中には調理師・栄養士の資格を持った方がいることもあって、バランスの取れたおいしい昼食が毎日用意されており、この昼食を食べに頻りに立ち寄り、という方も少なくない。オープンしてすぐの時間帯は比較的客人も少ないこともあり、昼食の準備のお手伝いをさせていただくことになった。</p> <p>材料を切ったり洗い物をし、料理が出来上がってからは盛り付けを行う。普段はあまり意識することはなかったのだが、彩りや見栄えも考慮した盛り付け。食事は目で見て楽しむことも大事な要素の一つだと教わった。</p> <p>11時過ぎによろやく3組の親子が訪れた。それぞれ6か月、4か月、2か月の子を連れてお母さん方が、子どもを寝かせておむつを交換したりあやしたりしながらおしゃべりをしている。家では付きっきりで見なければならぬが、スタッフが子育て慣れしていることや、育児仲間も一緒にいることもあってか、普段の育児の緊張がほぐれているように感じられた。</p> <p>市役所から比較的近くにあるが、陽だまりルームを知らない職員も多い。「だれもが」「自由に」交流できる場であるので、職員も交えて地域の方との交流がより親密なものになればよいと考える。</p> <p><参加者> 9名 <スタッフ> 5名</p>		
実習者の声	<p>・ふれあい交流サロン事業に参加しましたが、利用者が気楽に集える雰囲気づくりをすることで大変喜ばれており、公民協働がうまくいっている事例であると思いました。</p>		

陽だまりルーム (吹二地区集会所)		10月13日(木)10:00~12:30	
実習者	愛宕 史恵 (障がい者くらし支援室)	担当	三枝
内容	<p>10時前に到着。陽だまりルームではお昼前くらいから地域の方、親子が訪れるようなので、お昼に向けて調理の準備を行う。2時間と限られた時間内で約35人分の料理を作る必要があり、手を休める時間があまりなかった。</p> <p>この日のメインはメンチカツづくり。当初は大きいメンチカツを1つ作る予定だったが、火の通りがあまりよくなかったため、急遽2つに分割して揚げることとなった。</p> <p>お昼ごろになると、曇り空ではあるが多くの親子が集まってきた。子どもたちは、狭い部屋の中でありながらも、上手に遊んでいた。地域の高齢者の方も何人か見えて親子と談笑する場面も見られた。聞くところによると、ここは子ども達の笑顔もみることができ、ほっとするとのことである。</p> <p><参加者> 32名 <スタッフ> 5名</p>		
実習者の声	<p>・陽だまりルームに参加させていただきましたが、大勢の方が来られていて子育て中の方に必要とされている事業であると実感しました。</p>		

陽だまりルーム (吹二地区集会所)		10月14日(金)10:00~12:30	
実習者	西田 初美 (国保高齢者医療室) 横井 さよ子 (国保高齢者医療室)	担当	三枝
内容	<p>10時からお昼に向けて調理の準備を行う。この日はから揚げだった。</p> <p>11時に一時保育の利用がある。何度かこの一時保育を利用して慣れてきているとのことであったが、当初は一日中泣いていたとのこと。陽だまりルームのスタッフさんがあやしており、笑顔もみることができた。一時預かりについては保育園でも福祉サービスの一つとして行っているが、陽だまりルームでも一時保育を実施しており、保育園で紹介されているとのことだった。</p> <p>この日は雨が降っており、天気はあまりよくなかったが、お昼になると子育て親子や近隣に住んでいる方が何組か参加し、賑やかな雰囲気となった。</p> <p><参加者> 41名 <スタッフ> 4名</p>		
実習者の声	<p>・主に調理の手伝いをさせていただいていたのですが、各個人の思いを聞かせていただく時間がなかったことが、少し残念でした。何度か参加するか時間を長くにとって参加したほうが良く分かったと思いました。</p> <p>・皆さん、いきいきと楽しく活動されていました。ほんの少しでしたが、参加させていただき良かったです。</p>		

片山地区子育てサロン (朝日が丘児童センター)		10月17日(月) 10:30~12:00			
実習者	吉岡 直樹(児童育成課) 菊地 祥吾(人事課) 真木 美佐緒(さんくす図書館) 樫原 千尊(工務室) 水谷 球士(給水相談課)	担当	山下 三枝	社協	佐伯 大上
内容	<p>9時45分に到着。既に準備が始まっていた。</p> <p>地区福祉委員の方から「片山地区子育てサロン」の概要の説明を受ける。</p> <p>① 活動場所は、朝日が丘児童センター ② 活動日時は、第3月曜日の10:30~11:30 ③ 対象者は、0歳から未就学児と親 ④ 平均参加者は、33組79人 スタッフ13人 ⑤ 子育て支援センター、公立私立保育園・幼稚園、図書館、市民体育館、保健センターなどの地域の団体や施設の協力を得て季節の行事を取り入れている。</p> <p>10時頃から親子が集まり、10時30分からの開始を待ちわびていた。</p> <p>本日のプログラムは、「どんぐりであそぼう」ということで、旭ヶ丘学園と片山保育園の保育士さんによる手遊びで始まり、クラフト劇、「どんぐり」とペットボトルを利用して作るマラカス、親子によるリズム遊び、そして最後に「どんぐりひろい」と盛りだくさんな内容であったという間の1時間であった。</p> <p>無理なく親子遊びに参加してもらえるようにと、福祉委員さんがお世話係の体制をとっているため、兄弟姉妹のいる親子も存分に参加できていた。</p> <p>実習者は、戸惑いながらも親子の輪の中に入ったり、福祉委員さんにお話を聞いたりしていた。そして、最後は、参加者も一緒に後片付けをして解散。</p> <p>実習者は、その後のスタッフの反省会にも参加し、その日の活動で気になったことや、保育士さんなどプロの目からみた様子や今後の課題、感想など意見を出し合った。</p> <p>地域のさまざまな人が関わり、その連携がよく図れており、充実度が高い子育てサロンで、参加者、スタッフがいきいきとされていたのが印象的であった。</p> <p><参加者> 58名 <スタッフ> 13名</p>				
実習者の声	<p>・前回も参加しましたので、今回は前回とは違った雰囲気味わうことができよかったです。</p> <p>・近くの保育園と連携してイベントを開催するなど、親子が楽しめるように色々と工夫されているのに感心しました。</p> <p>・地域によってかなり様々なタイプがあるとのことでしたが、片山地域は、近隣</p>				

施設との連携を重視されているとのことで、「情報発信」「交流の場」を基本に考えられているというそのスタンスと実践に感動しました。

・実際に参加してみて、どのような活動を行っているのか良く理解できました。子育てサロンは地域の協力を得て成り立っており、参加し交流を深めることで地域のネットワークを広げていくことができる良い活動であると感じました。

・子育てサロンでは、なかなか来られていた親子と触れ合うことができず、せっかくの体験実習を無駄にしてしまったようで残念に思います。しかし、反省会では福祉委員さんや各関係機関の方々より貴重なご意見を伺うことができました。

陽だまりルーム (吹二地区集会所)		10月18日(火) 10:00~13:30	
実習者	森下 達人(住宅政策課) 黒谷 茉里(市民自治推進室) 村田 喜庸(人事課)	担当	黒木
内容	<p>オープン 15分前の9時45分に到着。陽だまりルームのスタッフの方々は、オープンの準備を始めているところだった。簡単に挨拶と自己紹介をし、一緒に準備のお手伝いに入らせていただく。</p> <p>陽だまりルームでは、毎日様々な献立の昼食が用意されている。野菜の肉巻き焼き、茄子の煮びたし、ポテトサラダ、かにかまぼこと胡瓜の酢の物、豆腐の味噌汁、ごはん、果物といった献立は調理師・栄養士の資格をもったスタッフが立てたものである。利益を求めて作っているわけではないため、そのぶん食事代をぎりぎりまで材料費に回せることが、充実した献立を可能にしている理由なのだという。スタッフに教わりながら、実習者も一緒になって食材を切ったり、盛り付けをしたりしていた。</p> <p>10時半過ぎに、ちいさな男の子を連れてお母さんが訪れる。お母さんは「ごめんね、いい子にしててね」「すみません、ちょっとの間よろしくお願いします」と言い、子どもを預けて出かけていった。病院に行かなければならない、美容室に行きたい、といったように、ちょっとした用事があるが、子どもの預け先が無いという子育て中の親のために、陽だまりルームでは一時保育(事前予約制、有料)を行っている。スタッフの方々も昼食の準備をしながらも合間に構ってあげたりお世話したりする。</p> <p>しばらくして、高齢の方もやってきた。常連の方で、ほとんど毎日訪れるのだという。さっきまではスタッフが男の子と遊んであげていたが、今度はその方も男の子とお話したり一緒に遊んだりし始めた。陽だまりルームに遊びに来た人同士のコミュニケーションも、ここの特色のひとつである。実習者にも一緒に面倒を見たり、お話ししたりしていた。</p> <p><参加者> 17名 <スタッフ> 5名</p>		
実習者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際運営している施設や利用者を見られ、またお話をできてよかった。 ・ 今回は陽だまりルームに参加させていただいたのですが、スタッフの方も気さくな方ばかりで大変よくしていただきました。 ・ 世話役の人とのやりとりが多く、実際に利用している方との会話ができればなお良かった。 		

山二地区子育てサロン (山二地区公民館)		10月19日(水) 10:30~14:30			
実習者	隅田 知里 (交通政策課)	担当	三枝	社協	大谷 村上
内容	<p>10時15分過ぎにサロンの事前打ち合わせを行う。山二地区の子育てサロンでは民生・児童委員さんも多く活動をされているようだった。</p> <p>10時半になると続々と地域の方が訪れる。公民館の会議室は人であふれたが、これでもいつもより少ない参加だった様子。</p> <p>まずは福祉委員さんからお子さんの名前呼びからサロンがスタートした。リズムにのって、一人ひとりのお名前を呼んでいく。初めて参加するお母さんに対しては、福祉委員さんから「初めての参加です」と声があがり、その親子にみんなが注目をする機会を設けている。このようなきっかけをつくることで、お母さん同士はつながりを作りやすくなるようだ。</p> <p>また、名前呼びが終わると、近隣保育園から地域担当保育士さんが来られ手遊びやペープサートを行い、盛り上げていた。一連の活動が終わるとお母さんたちは、個別に保育士さんへ子育ての相談をしていた。</p> <p>山二の子育てサロンでは午後まで開いているとのことだが、この形態はあまり他地区では見ることがなく珍しい。それぞれお弁当を持ってきたり、昼食を近隣で買ってきて交流を深めているようだった。</p> <p><参加者> 64人 <スタッフ> 8名</p>				
実習者の声	・地域の中に入って現場を見ることの大切さを実感しました。				

竹見台いきいきサロン (竹見台市民ホール)		10月21日(金) 13:30~15:30			
実習者	渡辺 義(介護保険課) 渡辺 佳孝(人事課)	担当	服部	社協	新宅
内容	<p>13時を少し過ぎたところに市民ホールに到着。CSWよりいきいきサロンの説明を受け、地区福祉委員の方へ挨拶の後、サロンは始まった。</p> <p>まずはCSWによる指体操。言われたとおりにすることが難しく、あちこちで笑顔があふれた。</p> <p>続いて、折り紙を組み合わせて壁飾りを作ることになった。今回作るものはクリスマスが近づいてきているので緑色の輪の飾り。最初は作り方がなかなか覚えられず、みんな隣を見ながら折り紙を折っていた。</p> <p>折り紙をしながら、参加者の方々にサロンについて話を聞いてみた。</p> <p>障がいのある人でも、地区福祉委員がその方の自宅まで行き、サロンに連れて来られるそうである。参加者の中には、このサロンが始まったときから来られている方もおられ、月1回のサロンを楽しみにしておられるとのこと。ここで出会う人たちとおしゃべりをするのが楽しみだそう。なお、今回参加者が全て女性だった。</p> <p>折り紙の時間が終わればお菓子を食べながら楽しくおしゃべりの時間になった。しばらくおしゃべりした後、最後には肩たたきをしてサロンは終了となった。</p> <p>このサロンでは季節に合ったものを行うようで、来月は、今回の壁飾りの続きとクリスマスに向けたハンドベルの練習をするそう。</p> <p><参加者> 17名 <スタッフ> 7名</p>				
実習者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・今回私は、いきいきサロンの活動に参加させていただきました。普段、庁舎外で市民の方とお話をさせていただく機会が少ないので貴重な経験になりました。 ・市と地域の関わりが少しわかった気がします。 				

古江台地区いきいきサロン (古江台市民ホール)		10月24日(月) 13:00~15:00			
実習者	柿本 和人(千里再生室)	担当	黒木	社協	水田
内容	<p>15分前に市民ホールに到着。CSW やいきいきサロンの代表の方から古江台地区のサロンの内容などについて簡単に説明を受ける。</p> <p>今日は秋の散策をテーマに市民ホールを離れてのサロンということで、市民ホールから歩いて10分ほどのところにある古江公園まで全員で散歩に出かけた。季節は少しずつ秋の深まりを告げており、そういった変化を気にはかけながらも、普段の外出ではゆっくり手にとって感じるといった機会が少ないものである。参加者は公園までの道のりをおしゃべりしながら歩いて移動。さながらプチ遠足といった雰囲気だった。</p> <p>公園に着くとスタッフが用意したお菓子などで一休み。その後、CSW の協力も得ながら、健康維持も兼ねて頭や身体を使ったゲームなどを行った。特に輪投げは、ゴムホースを粘着テープで留めて作ったというアイデアが印象的で、参加者・スタッフともに一緒になって楽しんでいた。</p> <p>最後に、いらなくなったネガフィルムを活用したしおりを作ることに。ネガフィルムは、漂白すると色が抜けて透明になる。これに自分の好きなものを挟んで、紐などで留めることで、オリジナルのしおりとして仕上げるもので、今日はそのしおりに挟むものを、それぞれ公園の中で探してもらうというものだった。選んだものは、スタッフがしおりに仕上げて、翌月のサロンで渡してくれることになった。みんな夢中になって、落ち葉や秋の草花などを探しに公園内を歩き回っていた。</p> <p>15時になったところでサロンは終了。そのまま現地解散になった。</p> <p>毎月第4月曜日に開催している古江台地区のいきいきサロンは、体育指導員を招いたプログラムのほか、今回のように外へ散策に出かけたり、年に1度バスで出かけるなど、市民ホール内外で様々な活動を展開している。参加者は比較的元気な方が多いものの、中には足腰の弱っていても楽しみに毎回来られている方もいるようだった。</p> <p><参加者> 10名 <スタッフ> 8名</p>				
実習者の声	<p>・高齢者の一人暮らしが多い中、こういったコミュニティの場は高齢者にとって安全な生活、また、生きがいや楽しみにつながるのだと実感しました。</p>				

陽だまりルーム (吹二地区集会所)		10月25日(火) 10:00~13:30	
実習者	菊地 祥吾(人事課)	担当	服部
内容	<p>10時より少し前に到着。スタッフの方との打ち合わせの後、早速昼食の準備に取り掛かった。</p> <p>今回の実習生は日頃から自炊をしているらしく、調理にはとても慣れているようだった。スタッフの方の指示により、準備を着々と進めていく。</p> <p>予定していた人数分の準備が出来上がるころに、子どもを連れてお母さんたちが続々とやってきた。食事までの間は、子どもたちは部屋内に置いてあるおもちゃで遊んでいた。</p> <p>準備が終わったところで、昼食をお母さんたちに運ぶ。</p> <p>食後の子どもたちと遊びつつ、その中で出席されたお母さんたちに陽だまりルームについて感想を聞いた。</p> <p>お母さんたちにとっては、子どもを目の届くくらいの大きさの部屋の中で自由に遊ばせておきながら、他のお母さんたちと会話が出来るところがよい。夫が夜は仕事で帰りが遅く、平日は子育てができないので、ずっと子どもと2人きりだとしんどいと思うことがあるようだ。また、なかなか食事を作りにくいようで、陽だまりルームのような食事を出してくれるところがあるというところはあるがたいそうだ。</p> <p><参加者> 23名 <スタッフ> 5名</p>		
実習者の声	<p>・私はご年配の方がたくさんおられる地域福祉の場に若い方が来られるイメージをあまり持っていませんでしたが、実際には若い親子が来られていたので驚きました。若いお母さんが育児について年配の方に相談されていたところを見て、育児をされている方にとって地域に相談できる場所があることは非常に大切であると思いました。また、普段できないような大掛かりな料理を経験できたことも楽しかったです。</p>		

陽だまりルーム (吹二地区集会所)		10月27日(火)10:00~12:00	
実習者	柏本 美樹(亥の子谷地域保健福祉センター)	担当	山下
内容	<p>10時に到着。昼食の下ごしらえの作業が既に始まっていたが、作業の合間を利用して概要の説明を受ける。</p> <p>「陽だまりルーム」は、ふれあい交流サロン事業として市内4か所で実施されている世代間交流のサロンの一つで、「陽だまりルーム」の目標は次のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 高齢者から乳幼児までの市民が気軽に集える。 ② だれもが自由に利用でき、和やかな雰囲気の中で語りあい、交流し、安心して子育て、孫育てができる。 ③ 季節ごとの行事やお誕生会も開催し、生活文化を伝承する。 <p>子育て世代には、実家に帰ってきた雰囲気を味わってほしいとの思いがあるとのこと。子育て中の悩みの相談や支援、育児から離れてほっと一息つきたい時に利用してもらいたいと、昼食とお茶の用意(自己負担あり)もあり、気軽に集える場をつくっている。また、一時保育も実施している。</p> <p>毎週火曜日～土曜日 10:00～16:00 開催</p> <p>実習生は、エプロン、三角巾を身に着け、手を念入りに洗い準備する。調理実習さながらの状態、下ごしらえの補助に入る。</p> <p>当日は、ミニ生け花の講習日で18人の参加があった。講習の合間にもお話は弾み、素敵なお花の作品に参加者は大満足の様子であった。そのあとの昼食とお茶も楽しみの一つということで、これも大いに満喫されたようであった。</p> <p>昼食の時間が近づくと、乳幼児を連れた親子や、毎日来ているという高齢者が訪れて大盛況であった。初めて来たという親子も、おもちゃで遊んだり、高齢者と談笑したりと、その場になじんでいた。まさに、実家に帰って来たような雰囲気であった。</p> <p>この間、実習生は、調理や盛り付けの補助、鍋や食器などの洗物に大忙しであったが、参加者の笑顔やその雰囲気に充実感をもった。</p> <p>三世代交流の場「陽だまりルーム」は、昼食の提供も大きな魅力であるが、地域をつなぐ活動であることを、この実習を通じて実感できた。</p> <p><参加者> 42名 <スタッフ> 5名</p>		
実習者の声	<p>・運営されるボランティアの方の大変さを実感することができました。大量の食事を準備から片付けまで行っていくことは大変でした。会を継続させていけるような様々な努力をされているのだと実感しました。</p>		

山手地区子育てサロン (総合福祉会館)		11月7日(月) 9:45~12:00			
実習者	山際 順一(生活福祉課)	担当	三枝	社協	佐伯 大上
	井口 公美(障がい者くらし支援室)				
	小川 義弘(建築課)				
	各務 琴絵(教育政策室)				
	山岡 亮太(福祉総務課)				
内容	<p>この日の山手地区子育てサロンの参加者はとても多く、過去最高の人数を記録したとのことだった。子どもを2人、3人つれてきている親子も多く、福祉委員さんや各関係機関の職員、実習者が子どもたちをあやしていた。</p> <p>山手地区の子育てサロンは、他の関係機関との連携が積極的に進められており、地域の公立の担当保育士や私立保育園の先生も当日のサロン運営を手伝っていた。主に手遊びや体操、大きい布を使った遊びなどを行うことで、親子のスキンシップが図られていた。</p> <p>今日の催しのメインはお豆腐を入れた黄な粉だんごづくりで、粉の段階から大人だけではなく小さい子たちも交えて、だんごづくり体験を行っていた。とても人数は多かったが、福祉委員さんの手際のよい誘導でスムーズに行事は進められていた。だんごを皆で食べ終えた後は、福祉委員さんのピアノの音色に合わせて、誰もが知っている童謡曲を合唱し、暖かい雰囲気包まれた。</p> <p>サロン終了後、スタッフの反省会が行われた。皆、思い思いの意見を出し次の活動につなげているようだった。各関係機関のお知らせで、近日中に私立保育園、公立保育園でそれぞれ催しが行われるようであり、地区福祉委員さんもお手伝いとして参加をいただくようだった。地区福祉委員さんは様々な取り組みを行っているが、さらに地域の催しにも参加要請があるとのこと地域福祉の担い手はますます必要とされていると感じた。</p> <p><参加者> 104人 <スタッフ> 21名</p>				
	実習者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと触れ合うことができ大変良かったです。地域の中でのつながりをつくっていくことは、非常に大切なことだと思いました。 ・「子育てサロン」に参加させていただきましたが、この活動が多く地域住人に支えられていることがわかりました。とりわけ、高齢者対象の「いきいきサロン」では参加者の一人である高齢者が、支援者の一人として活動を担っておられたことに、地域のネットワーク力を感じました。 ・普段見ることのできない、地域の活動を目の前でみることでよかったです。 ・たくさんの参加者の方がおられて驚きました。地区福祉委員さんの人数は少なく大変そうでした。 ・なかなか体験する機会がありませんでしたので、よかったです。 			

千一地区子育てサロン (千一地区集会所)		11月9日(水) 10:00~12:00			
実習者	荒木 恵実 (片山市民体育館)	担当	山下	社協	佐伯 大上
内容	<p>10時に到着。 すでに部屋の掃除の途中であったが、実習生も自己紹介ののち、おもちゃをひとつひとつ拭きとり消毒の準備をする。 準備がひと段落したところで、地区福祉委員さんから説明を受ける。 「千一地区子育てサロン」は、催しのあるとき以外は、特に計画をたてて取組を行わず、参加している親子を温かく見守るスタンスをとっている。 今回は催しはなし。次回の催しは、クリスマス会だそうである。 サロンの入口には、写真入りの手作りポスターが貼られていて、「千一地区子育てサロン」の年間の催しや取組がわかりやすく紹介されていた。 10時30分を過ぎると地域の親子が次々に訪れる。 子どもたちは、走りまわったり、大好きなおもちゃを見つけて自由に遊び、親も近況報告や情報交換など楽しそうにお話していた。その輪の中に地区福祉委員さんも入って見守りながら、子どもたちと一緒に遊んだり、子育てについてお話ししたりしていた。子どもたちが地区福祉委員さんと遊んでいる時は、親も安心してほっとする時間が得られ、ゆったりと過ごせる。実習生も輪の中に入れてもらった。お話を伺うと、毎日親子で過ごす時間が長く、気分もかわるのでサロンを利用しているとのことだった。 親子が安心してくつろげる、また仲間づくりの場のサロンが地域の中で確実に広がっているようである。千一地区福祉委員会は、千一地区集会所を地域福祉活動の拠点施設としている。当日も「子育てサロン」と「いきいきサロン」を開催しており、この集会所のおかげもあり千一地区の地域福祉活動は活性化している。</p> <p><参加者> 20名 <スタッフ> 6名</p>				
実習者の声	<p>・子育てサロンに参加しましたが、気軽に参加できる雰囲気とコミュニケーションのとりやすい環境づくりがお母さん方を癒していて、いい活動だと思いました。</p>				

千一地区いきいきサロン (千一地区集会所)		11月9日(水) 10:15~12:00			
実習者	菊地 祥吾(人事課)	担当	黒木	社協	佐伯 大上
内容	<p>千一地区のいきいきサロンは、千一地区集会所の一室で行われている。このあたりは道路の起伏も激しく、また近隣に駐車場などの設備も乏しいため、参加者は自身の足で会場まで来ることが出来る方、といったように限られてくる。そのような条件下のなかにあるが、毎月多くの参加者が訪れ、サロンは非常に活気付いている。</p> <p>サロンでは、春には敷地内に咲いた桜を眺めながらお花見、秋にはスポーツに絡んだイベント、来月はクリスマスパーティーといったように、季節にあわせて毎月趣向が凝らされた内容になっている。</p> <p>今月はボランティアとして2人の講師を招き、皆で絵手紙を描くというもの。来年の干支の辰年にちなんで、龍やタツノオトシゴなどの絵を描いてもらい、出来上がったものは持ち帰って年賀状として使ってもらえたら、というものであった。お手本や型紙を参考にしながら皆思い思いの絵手紙を描いていく。どの方も絵筆をとることは少ないながら、「上手に描けたね」「なかなか難しいなあ」などと話しながら、終始和やかなムードで描いていた。スタッフは参加者が楽しむ様子を見守りながら、絵手紙を褒めたり、絵の具の水を交換したりするなど、サロン中の様々な場面で細やかな気配りが感じられた。講師の2人は以前も絵手紙を行った際に講師として来られたそうで、「このサロンの楽しい雰囲気が好きで、いつも楽しみに来ています」とのこと。</p> <p>12時近くなり、最後にお茶とお菓子で歓談してサロンは終了。ところで、千一地区集会所内では、ふれあい交流サロン「ほっとサロンちさと」が火曜日から土曜日までの週5日オープンしており、コーヒーなどの飲み物やトーストが用意されている。片付けを終えたスタッフや一部の参加者は、帰る前にちょっと立ち寄りコーヒーを飲みながら、一息ついて歓談していた。</p> <p><参加者> 18名 <スタッフ> 7名</p>				
実習者の声	<p>・来られている皆さんがとても元気だなと感じたのですが、地区福祉委員の方がそれ以上に元気に場を明るくしていたのですが、お話を伺うと「来られる方は家で一人の時間が多いから、家から出て笑顔になれる場所を作っている」と語ってくださいました。地域福祉が持つ身近な暖かさを感じることができたと思いました。</p>				

吹二地区子育てサロン (吹二地区集会所)		11月10日(木) 10:00~12:00			
実習者	青木 清志(学務課)	担当	服部	社協	河原
内容	<p>10時より少し前に吹二地区公民館に到着。社協のCSWより子育てサロンに関する説明を受けた。その後、地区福祉委員会の方に挨拶をし、サロンが始まった。</p> <p>この日は保育所のイベントと日程が重なってしまい、最初は参加人数が少なめだった。しかし、その中でもサロンに初めて参加したお母さんがいた。この方は、結婚して吹田に引っ越してきて、知り合いは誰もおらず、このようなサロンがないかを調べて来られた。普段は子どもと2人きり。子育ての相談も、地区福祉委員さんにすればそれに答えてもらえるのありがたいようで、今後サロンを行う場所が変わっても参加したいとのこと。地区福祉委員の方々も、「子育ての悩みがあったらいつでもここに来たらいいよ。ここに来ればヨコのつながりが必ずできるから」と言われ、初めて参加された方も安心していった。こういった方のためにサロンはあるのだなと必要性を再認識した。また、他の地区からこのサロンに来る人もいれば、他の地区へ子育てサロンに行く人もいたようだ。</p> <p>本日のサロンは、まず音楽に合わせて手の体操をし、紙芝居をみんなで見た。その後は折り紙や、はしゃぐ子どもたちと一緒に遊んだりした。よく遊ぶとお腹もすくようで、この後のおやつタイムでは元気に食べていた。終始にぎやかな声が絶えないサロンだった。</p> <p><参加者> 25名 <スタッフ> 4名</p>				
実習者の声	<p>・子育てサロンに参加しましたが、孤立しがちな若いお母さんと子育てを地域社会と結び付けるための関係者のご努力(インターネットなどでの発信力も含めて)に感銘を受けました。</p>				

吹三地区子育てサロン (浜屋敷)		11月15日(火) 10:00~12:00			
実習者	山内 美樹 (児童育成課) 福本 幸子 (内本町地域保健福祉センター)	担当	山下	社協	中野
内容	<p>9時35分に到着。地区福祉委員さんが庭でアコーディオンを演奏されての素敵なお出迎え。浜屋敷の庭や部屋をうまく活用されており、庭には、ボールプールやミニすべり台が、部屋には、おもちゃや布団がすでに用意されていた。そのおもちゃや布団は、毎回、当日の朝、地域の保管場所から「子育てサロン」の会場(浜屋敷または地区自治会館)まで運びこまれるということである。</p> <p>実習者は、地区福祉委員長や社協のCSWからレクをしてもらい、自己紹介の後、地区福祉委員さんたちスタッフと一緒に参加者を待った。</p> <p>10時が近づくと、地域の親子が続々と到着。受付には、公私立の保育士さんも待機して親子を迎える。受付の後、子どもたちは、庭と部屋の中を自由に移動して遊んでいた。一方親は、縁側に腰掛け子どもたちを見守りながら近況報告など雑談していた。</p> <p>「子育てサロン」の中は、このように安心して親子が離れていられる環境にある。また、スタッフに何か相談している親の姿もあり信頼関係が築けている様子であった。</p> <p>この間もずっとアコーディオンの演奏は続いており、そのそばで子どもたちが、その音に合わせて体を動かしていた。その微笑ましい様子にその周りの親、スタッフの表情も和んで、あったかい雰囲気印象的であった。</p> <p>10時45分ころから、親子体操がはじまった。インストラクターは、男性2人。曲の最後に2人に抱きあげてもらうのであるが、子どもたちはそれが楽しみで何回もアンコールしていた。体を動かした後子どもは、また思い思いの遊びに戻ったが、親はヨガの講習を受けて子育ての合間のほっとするひとときを楽しんでいた。</p> <p>最後は、細長く切った紙をうちわで煽ぎフワフワ浮かせる遊びにみんなすごく盛り上がった。その後、組み立てたおもちゃ等の片付けを行い終了した。親子の満足気な表情が印象的であった。吹三地区は、男性のスタッフが多く活躍されていて、後片付けも紐かけをしたり箱などに納めたり実に手際よくされていた。また、多くのボランティアのスタッフの方々も協力されており、みなさん手慣れた様子で、「子育てサロン」の中に、今までの活動の中で培われた地域の力を感じた。</p> <p>今回は、浜屋敷で開催できたが、浜屋敷の使用申し込みは半年前からで、毎月第3火曜日の「子育てサロン」が、いつもここでできるとは限らず開催場所の確保で苦慮しているとのことであった。</p> <p><参加者> 60名 <スタッフ> 22名</p>				

実習者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に参加することで、聞いただけではわからないことをたくさん知ることができ、よかったです。仕事のみならず、今後の参考となりました。 ・たくさんの親子が参加しており、親同士の情報交換の場として役立っていると感じました。
--------------	--

陽だまりルーム (吹二地区集会所)		11月16日(水) 10:00~13:00	
実習者	齋藤 知宏 (安心安全室) 石田 祐基 (政策推進室)	担当	服部
内容	<p>10時より少し前に吹二地区集会所に到着。スタッフの方々に挨拶をした後、昼食の準備に取り掛かった。</p> <p>スタッフの方々の指示により、食材を切っていく。実習者は、「一人暮らしのときは料理をしていたけど、今は・・・」と言っていたが、手際よく準備を進め、自ら積極的に動いていた。</p> <p>調理後は盛り付けなどを行う。この頃には参加者(子連れの親や高齢の方)も少しずつ陽だまりルームにやって来て、子ども達は置いてあるおもちゃなどで遊んでいた。</p> <p>当初予定していた人数分の盛り付けなどが終わった頃には、参加者がほぼそろっていた。出来上がった食事をお母さんたちのところに持っていくと、「今回も実習ですか?」と聞かれる。陽だまりルームのリピーターも多いようで、地域に根付いた活動であることがうかがえた。</p> <p>食事中は賑やかなもので、ずっと遊んでいる子どももいた。高齢の方等からもさまざまなお話を伺った。</p> <p><参加者> 29名 <スタッフ> 5名</p>		
実習者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・当日、一時保育のあずかりがなく、スタッフの方と昼食の準備をさせてもらった。昼前には子ども連れのお母さんたちが集まってこられ、自然と交流の場がつくられており、地域の活動の重要性を感じた。 ・地域福祉活動を一生懸命されておられることに感心しました。市の職員といっても担当業務が多種多様で、このように地域で頑張っておられる方のことを知らない者も多いので、体験することも良い経験だと思う反面、現場の状況のみを知るのではなく、市全体の状況の中で、この体験実習の現場がどういう役割や位置付けであり予算はどうなのかということも学べるものであれば、もっとよい経験になると思いました。 		

高野台地区子育てサロン (高野台市民ホール)		12月1日(木) 10:00~12:00			
実習者	柿本 和人(千里再生室) 遠藤 成剛(住宅政策課) 田中 友梨(青少年サポートプラザ)	担当	三枝	社協	加島 水田
内容	<p>10時前に到着。2階の会議室を区切ってサロンのお部屋として活用していた。前半は親子で会話を楽しむ時間ということで、自由にわいわいと過ごしていた。高野台ではおもちゃの種類が多く、子どもたちの間で人気のおもちゃは取り合いがしばしば起こっていた。後半はクリスマスシーズンということで、ハンドベルをお母さんと子どもに渡し、シングルベルなどクリスマスにちなんだ曲を演奏した。特に練習をしなくても皆さんの息が合い、きれいなメロディが響き渡った。</p> <p>また、驚いたのは歌や手作りの紙芝居を当日参加のお母さんが行っていたことである。内容はクリスマスにまつわるものであり、他のお母さんたちも「すごい」と声を上げていた。その後、サンタに扮するCSWが子ども達にプレゼントを渡しお開きとなった。</p> <p>福祉委員さんやボランティアさんは行事運営のため常にお忙しくされていた。ただ、ボランティアさんの中には高野台の子育てサロンの卒業をされた方もおり、大変ありがたいことだなと感じた。</p> <p><参加者> 22人 <スタッフ> 6名</p>				
実習者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の第一義的な担い手である社会福祉協議会の職員さんや地区の福祉委員の方をはじめ、以前に子育てサロンに参加されていた方が、今はボランティアで協力されており、また常連のお母様がクリスマス会で出し物を準備してきているなど、こうして市民の方ひとりひとりが地域福祉活動を支えていることを、まさに実感できました。 ・初めての地域で行われている子育てサロンに参加させていただき、普段の生活の中だけではなかなか出会うことができないお母さんたちや地域の方々が集い交流を深めておられる姿を拝見することができ、大変貴重な機会となりました。 				

北山田地区子育てサロン (北山田地区公民館)		12月2日(金) 10:30~12:00			
実習者	藤川 正太郎(生涯学習課)	担当	三枝	社協	大谷
	山本 丈浩(福祉総務課)				
内容	<p>10時半少し前に到着。この日は今にも雨が降りそうな曇りの日だった。</p> <p>到着して北山田地区の子育てサロンについて、福祉委員さんとCSWにお話を伺う。北山田地区子育てサロンの参加者数は、今年(2011年)の3月に建てられた「夢つながり未来館」ができてから減る一方で、少し寂しいと福祉委員さんはおっしゃっていた。実際この日も参加者はあまり多くはなかったが、終始アットホームな雰囲気、親子は居心地がよさそうにみえた。1~2歳くらいの乳幼児がほとんどだった。</p> <p>子どもたちはたくさんあるおもちゃに夢中で、時折こども同士でおもちゃの取り合いでぶつかり、怒ったり泣いたりしていた。</p> <p>その後、地域担当保育士さんからスキンシップ遊びや、絵本の読み聞かせが始まった。熱心に聴く子や自分のしたい遊びをする子など、さまざまだった。さらに、福祉委員さんによるエプロンシアターが行われた。とてもよく練習をされておられ、大人も子ども達も物語に引き込まれていった。</p> <p><参加者> 11人 <スタッフ> 6名</p>				
実習者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・前回よりも積極的に児童と関われたと思います。 ・1つの活動が地区福祉委員会のみなさんの地道でねばり強い取り組みに支えられて行われていることが、身をもってわかったのがよかったです。 				

古江台地区子育てサロン (古江台市民ホール)		12月13日(火) 10:00~12:00			
実習者	安倉 弘志(情報政策課)	担当	三枝	社協	水田
	古島 亘(生活福祉課)				
内容	<p>10時前に市民ホールに到着。</p> <p>この日の子育てサロンは準備の段階から参加した。いつも準備を終えた段階のサロンに参加していたので、倉庫から備品を出すことや会場のセッティング等、大変ご苦労をされている様子をうかがえた。ちなみに会場設営はクリスマスということもあり、いつもより凝った仕様になっていたよう。</p> <p>10時半くらいから親子が集まってきた。初めての取り組みだったようだが、保健センターの管理栄養士さんが食育のお話をしていて、子どもたちは小さい子が多かったが、あまり暴れることもなく静かに聞いていた。その後は地域担当の保育士による手遊びや、おもちゃを使った遊び、絵本の読み聞かせなどが行われた。</p> <p>催しが終わったあとは、しばし親子がゆっくりする時間を設けており、部屋の奥ではお母さんたちがコーヒーを飲んでゆっくりするコーナーも設けられていた。</p> <p>サロンの最後には、サンタさんが登場し子どもたちにプレゼントを渡して回った。いきなり訪れた赤いおじいさんにびっくりした子もいたが、プレゼントもらうと喜んでいただようだった。</p> <p>また、帰る際、古江台市民ホール前は交通量がとても多く危険ということで、子どもたちが飛び出しをしないよう見守りをされているようだった。実際、3歳くらいの子どもたちが元気よく外に飛び出してきたので受け止めた。</p> <p>福祉委員さんのお話から、千里中央駅にて有料のキッズ教室なるものがあるらしく、そちらの方に行かれている人も結構いますという声もあった。</p> <p><参加者> 30人 <スタッフ> 8名</p>				
実習者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児との関わり方がうまく解らない自分にとっては貴重な体験でした。 ・初めての体験で傍観者的な立場になってしまいましたが、地域の活動を実際見ることができ、勉強になりました。 				

東地区子育てサロン (吹東町集会所)		12月16日(金) 10:00~12:00			
実習者	曾谷 聡紫(選挙管理委員会)	担当	三枝	社協	中野
内容	<p>10時前に到着。</p> <p>10時からサロンが始まった。地区担当のCSWに話をうかがうと、東地区内では3つの子育てサロンがあり、子育て支援活動の取り組みが盛んに行われているとのこと。またサロンは通常月に1回程度だが、場所によっては2回実施することもあるらしい。今回サロンを実施した吹東町集会所はとても新しく清潔感があり、人が集まりやすい環境にあった。吹東町集会所では子育てサロン以外にも、いきいきサロン、ふれあい昼食会も同じ会場で行われているようだった。</p> <p>この日サロンを運営していた福祉委員さんは3人と、とても少なかった。当初は地域担当の保育士さんが来るはずだったが、急遽来られなくなったとのこと。福祉委員さんが手遊びや絵本読みを行っていた。2~3歳の子どもたちが多く、絵本が始まると福祉委員さんの前に陣取り、しっかりと話を聞いていた。この日はお母さんしかいなかったが、時々お父さんが来ることもあるらしい。</p> <p>その後は時節柄、クリスマスカードをみんなで作った。シールやツリーの材料になる画用紙をいただき、親子で作業を開始。作ったカードはお部屋の一部分に飾った。また、吹東町集会所ではお茶を飲むスペースが用意されており、お母さんたちがほっこりとしている間は、福祉委員さんや、他のお母さんたちが子守をしていた。実習者は積極的にお母さんの輪に入っていく、色々と質問をしていた。</p> <p><参加者> 32人 <スタッフ> 3名</p>				
実習者の声	<p>・子育てサロンに参加し、CSWの方やお母さん達のお話を聞いたりすることは楽しかったです。体験実習というよりも見学という感じでしたので、実際に参加して体験できるプログラムがあればよりよいのではと感じました。</p>				

吹二地区子育てサロン (吹二地区集会所)		1月12日(木) 10:00~12:00			
実習者	坪井 美香(幼稚園課)	担当	三枝	社協	河原
内容	<p>吹二地区子育てサロン、通称ママーズ。10時前くらいから少しずつお母さん方が集まり始める。今日は他の場所で催しが行われているとのことで、少し参加者が少ないかもと福祉委員さんがおっしゃっていた。</p> <p>CSWの話によると、以前の吹二地区では比較的高齢の方が多かったとのことだが、最近では若い方が転勤で吹二地区に来られ、サロンに寄られる方も多く、乳幼児が増えているとのことである。</p> <p>はじまりのあいさつを保育園の地域担当保育士さんが、手遊びを含めながら行う。続いて1, 2, 3のおはようの歌やきゅうりの歌、バスの歌などを行い、親子のスキンシップを図る。少し身体を動かしたあとは、紙芝居。これもお母さんと子どもと一緒に参加しながらのお話だった。その後は薄い布を使ってのいないいないばあや、大きい布を使っての遊びを行った。その後は、自由時間に。お母さん同士でお話をしたり、保育士さんに子育て相談を行ったり、こどもたちは走り回ったりと、のびのびと過ごしていた。</p> <p>吹二地区ではおやつタイムがあるようで、親子はお茶を持ち寄り、テーブルの上でおやつをみんなで食べていた。走り回っていた子も、おやつタイム時はとても静かにしていた。</p> <p>サロンの最後には福祉委員さんから「どんな小さなことでも社協のCSWに相談してくださいね」と、参加者に紹介をしていた。ママーズでは、子育てや生活の困りごとを一人で抱え込まないで、どんどん相談して住みよいまちにしていきたいという、地域福祉の実践がなされていた。</p> <p><参加者> 24人 <スタッフ> 5名</p>				
実習者の声	<p>・参加させていただいて活動の内容がよくわかりました。参加者やCSWの方に直接話を聞くことができたのがよかったです。</p>				

6 参加者のアンケート結果

(1) 事前講義について

実施時期		時間		
適当	不適當	短い	適当	長い
32人	1人	2人	32人	1人

内容		
よくわかった	わかった	わからなかった
15人	17人	1人

(2) 事前講義に参加する前の各項目の認知度

地域福祉計画			社会福祉協議会		
知っていた	名前だけ	知らなかった	知っていた	名前だけ	知らなかった
12人	15人	8人	20人	13人	2人
34.3%	42.9%	22.9%	57.1%	37.1%	5.7%

地区福祉委員会			CSW		
知っていた	名前だけ	知らなかった	知っていた	名前だけ	知らなかった
13人	12人	10人	15人	11人	9人
37.1%	34.3%	28.6%	42.9%	31.4%	25.7%

(3) 事前講義についての意見

- ・講義を受ける前に、資料・レジュメ等をいただければ、もう少し質問できたかもしれません。
- ・もう少し時間をかけて説明してほしい。
- ・CSW さんとの座談会の時間がもう少し長ければいいと思います。
- ・地域福祉に関係のある各種団体の名前がでてきましたが、そもそもどういう団体で設立根拠や趣旨、構成員がどういう人たち（高齢者や会社員、子を持つ父母など）なのかということ、また吹田市や広く行政とどういう権利義務関係にあるかなど、どういう構造になっているのかについての解説があれば、もっと理解が深まるし、庁内向けには、そういう知識の普及の方が効率的に地域福祉のことを伝えられるのではないかと思います。
- ・社協やCSW の活動を市職員に周知する機会をさらに増やすのがよいと思います。
- ・CSW との座談会での参加者の自己紹介はなくてもよかったのかなと思いました。（時間的な問題で）
- ・事前講義のおかげで、体験実習に臨みやすかったと思います。

(4) 体験実習について

今まで地域福祉活動に参加されたことはありますか？ あり6人・なし32人

(5) 今後、参加してみたい地域福祉活動がありますか？

- ・陽だまりルーム（複数意見）
- ・いきいきサロン（複数意見）

- ・子育てサロン（複数意見）
- ・障がい者（児）交流事業（複数意見）
- ・ふれあい交流サロン（複数意見）
- ・子育て支援関連の活動（複数意見）
- ・NPO 活動

（6）研修全体について

- ・百聞は一見に如かずだとつくづく思いました。お忙しい中、このような機会をありがとうございました。
- ・福祉の現場を実際に体験できるというのは、非常に貴重な経験だと思います。得られた経験を職務に生かしていきたいです。
- ・今回の研修を通じて、障がい福祉施策の中だけ、又はそれに関わっている人達の中だけで障がいのある人の暮らしを支えようとするのではなく、既存の地域住民のネットワークを活用すること、又、吹田市地域自立支援協議会等により、障がいのある人をとりまくネットワークの構築に取り組むことの重要性を改めて認識することができました。
- ・行政側の責任と役割を痛感しています。広く色々な職員（管理職も）に受講願いたい。
- ・有意義な研修だったと思う。（複数意見）
- ・ボランティアをしたい気持ちはあっても、なかなか一人だと勇気が出ませんが、福祉総務の方が同行してくださったので心強かった。
- ・色々な世代の方と交流ができ、貴重な体験をさせていただきました。
- ・もっと地域のことを知りたい。組織等。
- ・図書館でも、こういった生の仕事現場を多くの職員に知っていただきたいと思う。すでに実践されている福祉総務課の取り組みに大いに学びたいと思う。
- ・いきいきサロンのような、地域に根付いた活動によってコミュニティが形成されており、そのことに加えて参加されている方の介護予防にも役立っていると感じました。
- ・社協の方とお話ができる場を設けていただいたことが、とても良かったです。また、実際に体験実習に行くことができ、地域の方との関わりをもつことができ、貴重な経験となりました。
- ・地域住民の方が様々な活動をされて地域は育っていくものだと思います。行政職員は市役所に来る市民だけに目を向けるのではなく、こういった地域住民の活動を下支えすることも重要だと思います。研修に参加してよかったです。ありがとうございました。
- ・実地体験をした後で座学の研修を受けたら、もう少し興味をもって聞くことができたのではないかと思った。
- ・地区福祉委員の活動を知ることができてよかったです。
- ・多くの時間をかけて、1か所の体験をするよりも、動画を使って、多くの現場を見た方が地域福祉の現場を学ぶ第一歩としてはよいのではないかと思います。
- ・初めての体験実習でしたが、この経験をこれからの仕事等に生かしていきたいと思いません。
- ・今までわかっていそうで、よくわからなかった社協、地区福祉委員会について学び、実

際の活動の一端を体験することができて非常に有意義でした。チラシや新聞はたまに家に入っていますが、市報やCATVでのPRもしていったらいいなと思いました。

・どのようなスタンスで参加又は見学するのかなど、戸惑った部分がありました。提案ですが、典型的な体験実習の様子を一度録画しておいて、講義の時に上映していただくと、実習に参加しやすいと思います。

・講義や座談会、実習を通して、地域福祉活動について理論的・実践的に学ぶことができました。

・業務の中では知ることがない、地域福祉活動を知る良い機会でした。ありがとうございました。

・福祉総務課職員とCSWとの関係性が良いせいか、初めて参加した私自身、周りの方によくしてもらい、楽しく研修させていただきました。

・地域福祉といっても今までイメージが出来なかったので、必要とされている現場に立会い、実際に市民が憩いの場としていることを感じる事ができてよかったです。

・普段できない体験ができました。ありがとうございました。

・社会福祉協議会や地区福祉委員会の方が、本当に地域のために頑張っていらっしゃると強く感じました。

・体験実習に参加し、講義についても振り返ることで一層理解が深まりました。ありがとうございました。

・講義もグループ形式にしたりして、とてもわかりやすかったです。体験実習も実際の雰囲気わかり有意義でした。

・また機会があればこのような研修に参加したいと思います。

・普段本庁から出ることが、ほとんど無いので新鮮な体験でした。折り紙おもしろかったです。

・担当の方と2人だったので他の参加者の反応も聞いてみたかったです。

・地域福祉を知ることは市役所での業務に役立つだけでなく実生活にも非常に有益であると思います。この研修で学んだことを今後生かしていきたいと思います。

・講義だけでなく体験実習に参加させていただいたので地域福祉活動についての理解が深まったと思います。ありがとうございました。